

### (3) 調査・研究成果データ・ベースの整備

平成4年に設立以来、当研究所の成果物（報告書）は既に3百を超えている。さらにその間、当研究所のスタッフの大半は2年毎に入れ替わっているため、委託から成果物に至るまでの業務内容等の膨大なペーパー・書物等を瞬時にかつコンパクトに把握することは、運営管理上の課題であった。そのため、まず、業務分野別に大きく10項目の分野に仕分けをして、年度毎に時系列整理を行い、さらに詳細業務内容を1シートのコンパクトサイズにまとめ、電子データ化を図った。

#### ① 調査分野の整理内訳・・・以下の10項目に分類

<調査・研究分野>

1. 土地と経済
2. 地価動向
3. 土地政策一般
4. 土地利用計画
5. 土地税制
6. 環境
7. 都市問題
8. 諸外国の土地問題
9. 不動産市場
10. 不動産業および不動産に係る事業の推進方策

※ 10は、平成11年迄、「不動産業」と「不動産に係る事業の推進方に分類されていた項目を平成12年より統合

#### ② 業務内容・・・調査・研究分野・実施年度・研究テーマ・担当者等の項目を設定して、研究テーマ毎の業務内容を1シートにまとめ、条件を指定することにより、上記項目の詳細内容を検索することができる電子データ化を実施した。